

北九州国際映画祭2024について

名称

北九州国際映画祭2024
Kitakyushu International Film Festival 2024

コンセプト

世界で最も映画愛に満ちた映画のエコシステムをつくる

2つの柱

- ①映画で挑戦するすべての人を応援
- ②世界一映画を愛するコミュニティの形成

日程

11月1日(金)ウェルカムセレモニー
オープニングセレモニー
2日(土)上映・ワークショップ
3日(日)上映・ワークショップ

※多くの方が参加しやすい土日を中心にプログラムを集中



《ウェルカムセレモニー》

船場広場 11/1(金) 16~17時

俳優・映画監督による豪華ブルーカーペットイベント開催



イメージ

上映会場

Theater I J:COM北九州芸術劇場中劇場
Theater II 小倉昭和館
Theater III 船場広場 屋外イベント会場
Theater IV シネプレックス小倉
Theater V T・ジョイリバーウォーク北九州

松居大悟 監督

Daigo Matsui



<プロフィール>

1985年福岡県北九州市生まれ。劇団ゴジゲン主宰。2012年『アフロ田中』で、長編映画初監督。その後、『ワンダフルワールドエンド』('15)でベルリン国際映画祭出品、『私たちのハアハア』('15)でゆうばり国際ファンタスティック映画祭2冠受賞、『アズミ・ハルコは行方不明』('16)は東京国際映画祭・ロッテルダム国際映画祭に正式出品された。クリープハイプやドレスコースなどのMVを手がけるほか、テレビ東京系列『バイプレイヤーズ』シリーズのメイン監督も務めた。2021年には自身初の小説『またね家族』を刊行。

2022年に公開された「ちょっと思い出しただけ」は東京国際映画祭にて観客賞とスペシャルメンションをW受賞のほか、ファンタジア国際映画祭2022で部門最高賞となる批評家協会賞を受賞。さらに日活ロマンポルノ50周年映画「手」が、第52回ロッテルダム映画祭「ハーバー部門」に正式出品された。最新作に「不死身ラヴァーズ」(脚本・監督)がある。



犬童一心 監督

Isshin Inudo

<プロフィール>

1960年生まれ。高校時代より自主映画の監督・製作をスタート。高校時代にぴあフィルムフェスティバルに入選。大学卒業後CMディレクターとして活躍。『二人が喋ってる。』(97)で映画監督協会新人賞。市川準監督『大阪物語』(99)の脚本により商業映画の世界へ。『ジョゼと虎と魚たち』(03)により芸術選奨新人賞。『メゾン・ド・ヒミコ』(05)により芸術選奨文部科学大臣賞。その後『タッチ』(05)、『黄色い涙』(07)、『眉山 びざん』(07)、『グーグーだって猫である』(08)等、話題作を発表。『ゼロの焦点』(09)で日本アカデミー賞優秀作品賞・監督賞・脚本賞、さらに『のぼうの城』(12)で日本アカデミー賞優秀作品賞・監督賞を受賞。テレビ版「グーグーだって猫である」(14)で放送文化基金賞。その後、『引っ越し大名!』(19)、『最高の人生の見つけ方』(19)、『名付けようのない踊り』『ハウ』(22)など。

CM「詐欺は防げる」ACC金賞「オリコJUクレジット」ACC銀賞 他受賞多数。

アドバイザー&学生セレクションプログラマー



木全純治 氏

1983年、若松孝二監督の誘いにより、シネマスコーレ支配人となる。1996年より「あいち国際女性映画祭」のディレクターとなり、来年30周年を迎える。2021年スコーレ映画塾を開設、22年にシネマスコーレの代表。24年「青春ジャック止められるか、俺たちを2」をプロデュースする。



鈴木一 氏

撮影:塩見浩介

オリオフィルムズ代表。
『青い胤』『太陽の少年』『阿片戦争』『鬼が来た!』等の一般公開を実現させる。(株)ワコー入社、初期韓国ドラマブームの仕掛け人として寄与する。2011年独立してオリオフィルムズを設立。主にアジア映画の配給宣伝を行う。「台湾巨匠傑作選」主催者。



西谷郁 氏

福岡インディペンデント映画祭国際担当。日本映像学会西部支部幹事。西南学院大学・九州産業大学ほか非常勤講師。専門はアジア映画研究。アジア映画や映像ワークショップをプロデュース。

上映作品予定数 25作品

KIFFプレミア作品 3作品

海外作品を主に、九州初の作品を上映

松居大悟・犬童一心セレクション 8作品

松居大悟監督が『これからの視点』をキーワードに独自の視点で「もっと観てほしい・知ってほしい作品」をセレクト
犬童一心監督も推薦作品をセレクト

北九セレクション 1作品

北九州ゆかりの映画を対象に市民・映画ファンの投票で上映作品を選定

まちなか映画館 3作品

船場広場での屋外上映

その他 10作品

「国際短編部門:学生セレクション」などの関連映画を上映
北九州ゆかりの映画・映画人に関連したセレクション等

上映プログラム

KIFFプレミア作品

(1)『日曜日』(九州プレミア)

作品概要 2023年 ウズベキスタン 97分
監督:ショキール・コリコブ
上映日 11月1日(金)
上映会場 J:COM北九州芸術劇場・中劇場
※登壇ゲスト調整中



(c) Yoshlik

(2)『少年と少女』(九州プレミア)

作品概要 2023年 台湾 140分
監督:シュウ・リーダ
上映日 11月2日(土)
上映会場 J:COM北九州芸術劇場・中劇場
※登壇ゲスト調整中



©Rise Productions Co., Ltd.

(3)『盛夏の聲』(九州プレミア)

作品概要 2024年 中国 105分
監督:チャン・ユーディ
上映日 11月3日(日)
上映会場 T・ジョイリバーウォーク北九州
※登壇ゲスト調整中

松居大悟セレクション

(1)『私たちのハアハア』

作品概要 2015年 日本 91分
監督:松居大悟
上映日 11月3日(日)
上映会場 小倉昭和館



©2015「私たちのハアハア」製作委員会

(2)『柳川』

作品概要 2012年 韓国 112分
監督:チャン・リュル
上映日 11月2日(土)
上映会場 小倉昭和館
※登壇ゲスト調整中



上映プログラム

(3)『ゴースト・トロピック』

作品概要 2014年 ベルギー 84分
監督:バス・ドゥボス
上映日 11月2日(土)
上映会場 J:COM北九州芸術劇場・中劇場
※登壇ゲスト調整中



©Quetzalcoatli, 10.80 films, Minds Meet production

(4)『ちょっと思い出しただけ』

作品概要 2022年 日本 115分
監督:松居大悟
上映日 11月2日(土)
上映会場 J:COM北九州芸術劇場・中劇場
※登壇ゲスト調整中



©2022「ちょっと思い出しただけ」製作委員会

犬童一心セレクション

(1)『名付けようのない踊り』 ※2本立て

作品概要 2021年 日本 114分
監督:犬童一心

『Some Body Comes Into the Light』

作品概要 2023年 日本 9分
監督:ヴィム・ヴェンダース

上映日 11月3日(日)
上映会場 小倉昭和館
※登壇ゲスト調整中



©2021「名付けようのない踊り」製作委員会

(2)『メゾンド・ヒミコ』

作品概要 2005年 日本 131分
監督:犬童一心
上映日 11月2日(土)
上映会場 小倉昭和館
※登壇ゲスト調整中



(3)『ゼロの焦点』

作品概要 2009年 日本 131分
監督:犬童一心
上映日 11月2日(土)
上映会場 小倉昭和館
※登壇ゲスト調整中



©2009「ゼロの焦点」製作委員会

上映プログラム

羽住英一郎セレクション

(1)『第三の男』

作品概要 1949年 イギリス 105分
監督:キャロル・リード
上映日 11月2日(土)
上映会場 シネプレックス小倉
※登壇ゲスト調整中



提供:アイ・ヴィー・シー

(2)『冒険者たち』

作品概要 1967年 フランス 113分
監督:ロベール・アンリコ
上映日 11月2日(土)
上映会場 小倉昭和館
※登壇ゲスト調整中



© Societe Nouvelle de Cinematographie(SNC)-Paris 1967.

光石研出演作品

(1)『バイプレイヤーズ～もしも100人の名脇役が映画を作ったら～』

作品概要 2021年 日本 100分
監督:松居大悟
上映日 11月2日(土)
上映会場 T・ジョイリバーウォーク北九州
※登壇ゲスト調整中



©2021「映画 バイプレイヤーズ」製作委員会

板谷由夏出演作品

(1)『37セカンズ』

作品概要 2019年 日本 115分
監督:HIKARI
上映日 11月3日(日)
上映会場 シネプレックス小倉
※登壇ゲスト調整中



©37 seconds filmpartners/配給:ラビットハウス

上映プログラム

吉本実憂出演作品

(1) 上映作品調整中

上映日 11月2日(土)
上映会場 シネプレックス小倉
※登壇ゲスト調整中

国際短編部門: 学生セレクション

(1) 『私の母の物語』(日本プレミア) ※5本立て

作品概要 2023年 韓国 15分08秒
監督: キム・ソヨン、チャン・ミンヒ

(2) 『夏休み』(日本プレミア)

作品概要 2023年 韓国 27分44秒
監督: キム・ミンソン

(3) 『マイナス・ワン』(日本プレミア)

作品概要 2024年 トルコ 14分47秒
監督: オマール・フェルファト・オズメン

(4) 『DIVE』(日本プレミア)

作品概要 2023年 イタリア 12分10秒
監督: アルド・ユリアーノ

(5) 『楽園の約束』(九州プレミア)

作品概要 2023年 エジプト、フランス、カタール 24分59秒
監督/モラド・モスタファ

上映日 11月3日(日)
上映会場 小倉昭和館
※登壇ゲスト調整中

上映プログラム

北九セレクション

北九州市内で撮影された“北九州ゆかりの作品”を対象に、市民・映画ファンの投票で上映作品を選定。得票数が最も多い作品を『北九セレクション』として上映。

- (1)投票期間 2024年9月15日(日)～10月15日(火)
 (2)応募条件 お一人様1回のみ
 (3)投票結果の発表 10月16日(水)公式ホームページ内にて発表

<p>① 『カラダ探し』 2022年 監督:羽住英一郎 主要キャスト 橋本環奈 眞栄田郷敦</p>  <p>©2022「カラダ探し」 製作委員会</p>	<p>⑤ 『でっかいでっかい野郎』 1969年 監督:野村芳太郎 主要キャスト 渥美清 岩下志麻</p>  <p>©1969松竹株式会社</p>
<p>② 『相棒-劇場版IV-』 2017年 監督:橋本一 主要キャスト 水谷豊 反町隆史</p>  <p>©2017「相棒-劇場版IV-」 パートナーズ</p>	<p>⑥ 『錆びたナイフ』 1958年 監督:舛田利雄 主要キャスト 石原裕次郎 北原三枝</p>  <p>©日活</p>
<p>③ 『図書館戦争 THE LAST MISSION』 2015年 監督:佐藤 信介 主要キャスト 岡田准一 榮倉奈々 田中圭 福士蒼汰 土屋太鳳 松坂桃李</p>  <p>©“Library Wars” Movie Project</p>	<p>⑦ 『この天の虹』 1958年 監督:木下恵介 主要キャスト 高橋貞二 久我美子</p>  <p>©1958松竹株式会社</p>
<p>④ 『WILD7』 2011年 監督:羽住英一郎 主要キャスト 瑛太 椎名桔平 丸山隆平</p>  <p>©2011「ワイルド7」 製作委員会</p>	

上映プログラム

11月1日(金)

J:com北九州芸術劇場中劇場
日曜日

KIFFプレミアム	吉本実憂出演作品
松居監督セレクション	板谷由夏出演作品
犬童監督セレクション	光石研出演作品
羽住監督セレクション	その他

11月2日(土)

J:com北九州芸術劇場中劇場	小倉昭和館	シンプルス小倉	T-ジョイ	船場広場
ちょっと思い出 しただけ	冒険者たち	上映作品調整中		
ゴースト トロピック	ゼロの焦点	第三の男		
少年と少女	柳川		バイプレイヤーズ	勝山 パークシネマ①
	メゾン・ド・ヒミコ			勝山 パークシネマ②

11月3日(日)

小倉昭和館	シンプルス小倉	T-ジョイ	船場広場
私たちの ハアハア			
名づけようの ない踊り 他			勝山 パークシネマ③
北九セレクション	37セカンズ	盛夏の聲	
学生セレクション			

チケット 9月27日(金)より発売中

- 一般…前売り券 1,300円/当日券 1,500円
- 学 生…前売り券/当日券ともに 500円
- 障害者(付き添いの方も1名まで同料金)…前売り券/当日券ともに 500円
- ※T・ジョイリバーウォーク北九州会場の作品のみ下記料金
- 一般…前売り/当日券ともに 1,500円
- 学 生…前売り/当日券ともに 1,000円
- 障害者(付き添いの方も1名まで同料金)…1,000円

【前売り販売について】

チケットは下記窓口、e+で販売

■小倉井筒屋プレイガイド

(小倉井筒屋新館8階)

■Q-station

(リバーウォーク北九州5階)

■黒崎ひびしんホール

(八幡西区岸の浦二丁目)

【当日販売について】

各上映会場で、当日上映される作品の当日券を販売

※前売りで完売した作品の当日販売はありません。

※当日券の支払いは現金のみ。

※学生・障害者向けの券を購入する際は、学生証や障害者手帳などの身分証をご提示ください。

各種ワークショッププログラム

北九州NEXTムービーワークショップ

北九州国際映画祭初の試みとして、北九州市を舞台にした短編映画制作ワークショップを実施。映像制作経験のあるチーム、映像作品に出演してみたい方、映像制作のサポートをしたい・映像制作に関わってみたい方、短編映画制作の参考となる北九州市での思い出エピソードを提供したい方など広く募集。

完成した作品は北九州国際映画祭2024会場で上映・表彰。

【企画概要】

映画祭開催日を含む4日間、『街と人』をテーマに「映画づくりに関わりたい」学生や市民の方々を募集。書類による事前審査、個別面談を実施し、参加者を決定。犬童監督監修のもと実際に映画を制作・撮影・編集してもらい、映画祭最終日に完成した作品を上映・表彰。



【北九州NEXTムービーワークショップ】
講師・監修／犬童一心監督

- ・講師/監修:犬童一心監督
- ・プロデューサー:金石智宏氏
- ・協力:北九州フィルム・コミッションほか

1. 募集

■ 団体(映像制作チーム)

- ・映像制作経験がある撮影チーム

□ 個人(出演俳優)

- ・演者として撮影に参加したい方(※未経験者でも応募可能)

□ 個人(制作サポーター)

- ・監督、脚本、照明、編集、カメラマン、音声、音楽、その他技術などで映像制作をサポートしたい方、映像制作の仕事を目指している方(※未経験者でも応募可能)

□ 北九州市での思い出エピソード

- ・映像制作チームに短編映画の参考となる北九州市での思い出エピソードを提供したい方(※どなたでも応募可能)

2. 募集期間・参加までの流れ

- 9月30日まで 募集受付
- 10月 上旬 参加者の方へご連絡
- 10月 中旬 参加者全体ミーティング
- 10月31日 テスト撮影日
- 11月1～3日 本番撮影・3日に上映

ワークショップ期間

ショートムービーコンテスト



北九州国際映画祭の参加型企画の一つとしてショートムービーコンテストを実施。募集するのは、3分以内のオリジナルショートムービー。優秀作品については、映画祭会場で上映・表彰。

1. 名 称 KIFF2024ショートムービーコンテスト
2. 募集期間 2024年9月2日(月)～10月14日(月・祝) 23:59
3. 募集内容 テーマ自由、3分以内のショートムービーを募集
※日本語以外を使用する際は日本語字幕を入れる。
4. 募集部門 <一般部門(高校生以上)>、<小・中学生部門>
5. 応募資格 プロ・アマ・年齢・国籍・個人・団体など不問
※小・中学生が参加する場合は、保護者の承諾が必要。
6. 評価方法 作品をYoutube上で公開
視聴者の高評価数、再生回数等を踏まえて入選作品を選定。
7. 表 彰 各部門入選した5作品(計10作品)については、表彰し、副賞を授与
※監督による講評あり
※表彰式は映画祭最終日11月3(日)に開催いたします。
8. そ の 他 本企画の参加者全員に北九州国際映画祭の鑑賞チケットをプレゼント
※団体応募の場合は1団体につき1枚

未来をひらく子ども映画プロジェクト

北九州国際映画祭の関連イベントとして、こどもたち(小学生・中学生)を対象とした映画制作のワークショップを実施いたします。
こどもたちの夏休みの思い出に、ショートムービーの企画から脚本制作、カメラワークの技術、撮影・編集までをプロがレクチャーするもの。

1. 名 称 未来をひらくこども映画プロジェクト
2. 開催日時 【第1回】 ストーリーの作り方・動画の撮り方講座 (参加者 21名)
令和6年8月18日(日)
①午前の部 10時00分～12時00分
②午後の部 15時00分～17時00分
【第2・3回】 スマートフォンを使った動画の編集講座 (参加者 30名)
令和6年9月8日(日)・23日(月・祝)
①両日とも13時00分～15時00分
3. 場 所 AIMビル6階 COMPASS KOKURA(小倉北区浅野三丁目8番1号)

4. 講 師



北九州市出身。東京で数多くの映画制作に携わったのち、北九州へ帰郷し、活動中。
1980年横浜放送映画専門学院(現 日本映画大学校)卒業後、三船プロダクション撮影部に入り、「大江戸捜査網」「土曜ワイド劇場」等。
以降、フリーランスとして「太陽にほえろ!」「西部警察」等のテレビドラマをはじめ「刑事物語」で劇場映画初参加。大林宣彦監督の下で映像も担当。

岩松(いわまつ) 茂(しげる)氏(北九州映画実行委員会 監督)



1962年生まれ。大阪芸術大学映像計画学科卒業。
広告関係に従事しながら映像制作に携わる。
映像制作活動を本格的に行う前に映画解説者としてNHK北九州の情報番組に出演。
現在、映像作家として北九州市を拠点に短編映画やドキュメンタリーを監督。また、グローバルクリエイター専門学校で映像制作の講師に就き、後進の指導にあっている。

碓(いかり) 義彦(よしひこ)氏(映像作家・GCA 講師)



北九州市立大学公認文化系サークル。自主映画制作、企業案件動画作成、他サークルとの映像コラボ、北九州ロケの全国公開映画ボランティアスタッフならびにエキストラ出演など”映像”をベースに多岐に活動。

北九州市立大学映像制作集団ロマンダム

5. 主 催 北九州映画実行委員会、COMPASS KOKURA
北九州国際映画祭実行委員会
6. 協 力 北九州市教育委員会

国際短編部門：学生セレクション

市民参加型プログラムとして『国際短編部門：学生セレクション』を開催。同プログラムは、事前に申し込みいただいた学生や生徒の方々が学生プログラマーに就任し、プサン国際短編映画祭2024の観客賞を受賞した作品など合計5作品を鑑賞。それぞれの映画について、語らい、理解を深め、北九州国際映画祭2024として賞の選定・その理由などについてのトークを作品上映時に行う。



写真提供:Busan International Short Film Festival

『私の母の物語』(日本P)

作品概要 2023年 韓国

15分08秒

監督:キム・ソヨン、チャン・ミンヒ



写真提供:Busan International Short Film Festival

『夏休み』(日本P)

作品概要 2023年 韓国

27分44秒

監督:キム・ミンソン



写真提供:Busan International Short Film Festival

『マイナス・ワン』(日本P)

作品概要 2024年 トルコ

14分47秒

監督:オマール・フェルファト・オズメン



写真提供:Busan International Short Film Festival

『DIVE』(日本プレミア)

作品概要 2023年 イタリア

12分10秒

監督:アルド・ユリアーノ



写真提供:Busan International Short Film Festival

『楽園の約束』(九州P)

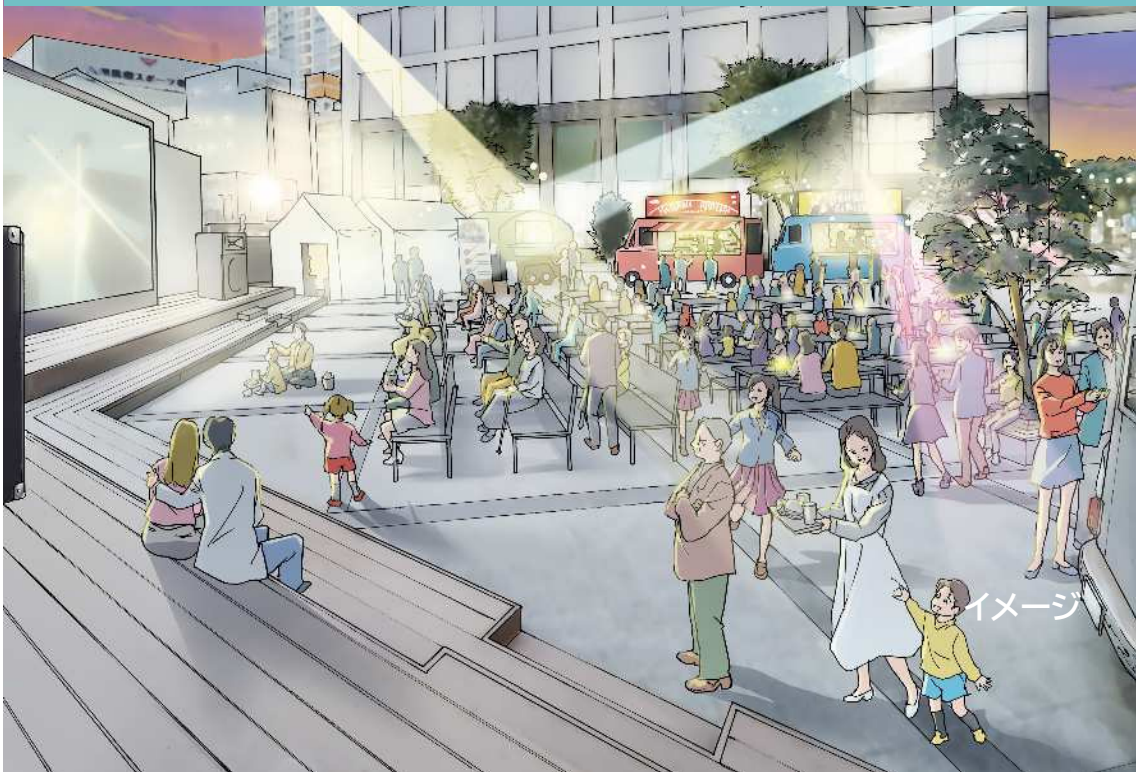
作品概要 2023年 エジプト、フランス、カタール

24分59秒

監督/モラド・モスタファ

1. 募集期間 2024年9月15日(日)から10月6日(日)
2. 対象者
 - ・北九州市内の学生や生徒、または、北九州市の学校に通学する学生や生徒(高校生、専門学校生、短大生、大学・大学院生など)
 - ・国際や文化芸術に関心のある学生や生徒
3. 日程
 - ▽10月中旬
 - ・上記5作品を鑑賞し、学生プログラマーの皆さんでディスカッション。
 - ▽11月3日(日)
 - ・受賞作品の選定や講評文の作成などを実施。
 - ・北九州国際映画祭2024の会場で一般の観客の前でセレクション理由等について、学生プログラマーとプサン国際短編映画祭関係者(韓国から招聘)によるトークと作品の上映を実施
 - ▽12月上旬
 - ・学生プログラマーによる振り返り等の実施

まちなか映画館 11/2(土)~3(祝)
船場広場で上映(無料)及び食のイベントを開催



【屋外での映画上映(無料)】

地元映画団体「勝山パークシネマ」と連携した勝山パークシネマセレクション。

- ①映画『あなたが眠りにつく前に』
- ②映画『仮面病棟』
- ③映画『ママレード・ボーイ』

【ワークショップ】

参加型プログラム「ショートムービーコンテスト」や「北九州NEXTムービーワークショップ」などの上映・表彰等。

【みんなのシアター】

北九州市ゆかりの自主製作映画などを上映。

【食のイベント】

映画のロケ弁や北九州市のソウルフード等を販売する食のイベント。